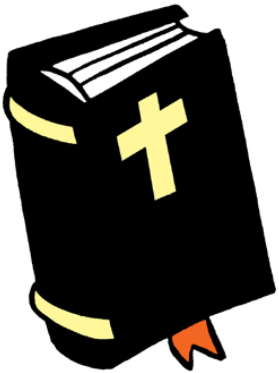




しとぎょうでん た 使徒行伝：食べるべきか、食べぬべきか？

(しとぎょうでん だい しょう 使徒行伝 第10章)



カイザリヤに、コルネリオという人が住んでいました。コルネリオは一家そろって神様を信じ、民にほどこしをし、絶えず祈っていました。ある日のことです。コルネリオは、幻の中で天使がこう言うのを見ました。「コルネリオ、神様はあなたの祈りを聞かれ、あなたが貧しい者たちにほどこしをするのを見られました。さあ、ヨッパへ人をやって、シモン・ペテロという人を呼んできなさい。彼は、あなたがすべきことを教えてくれるでしょう。」

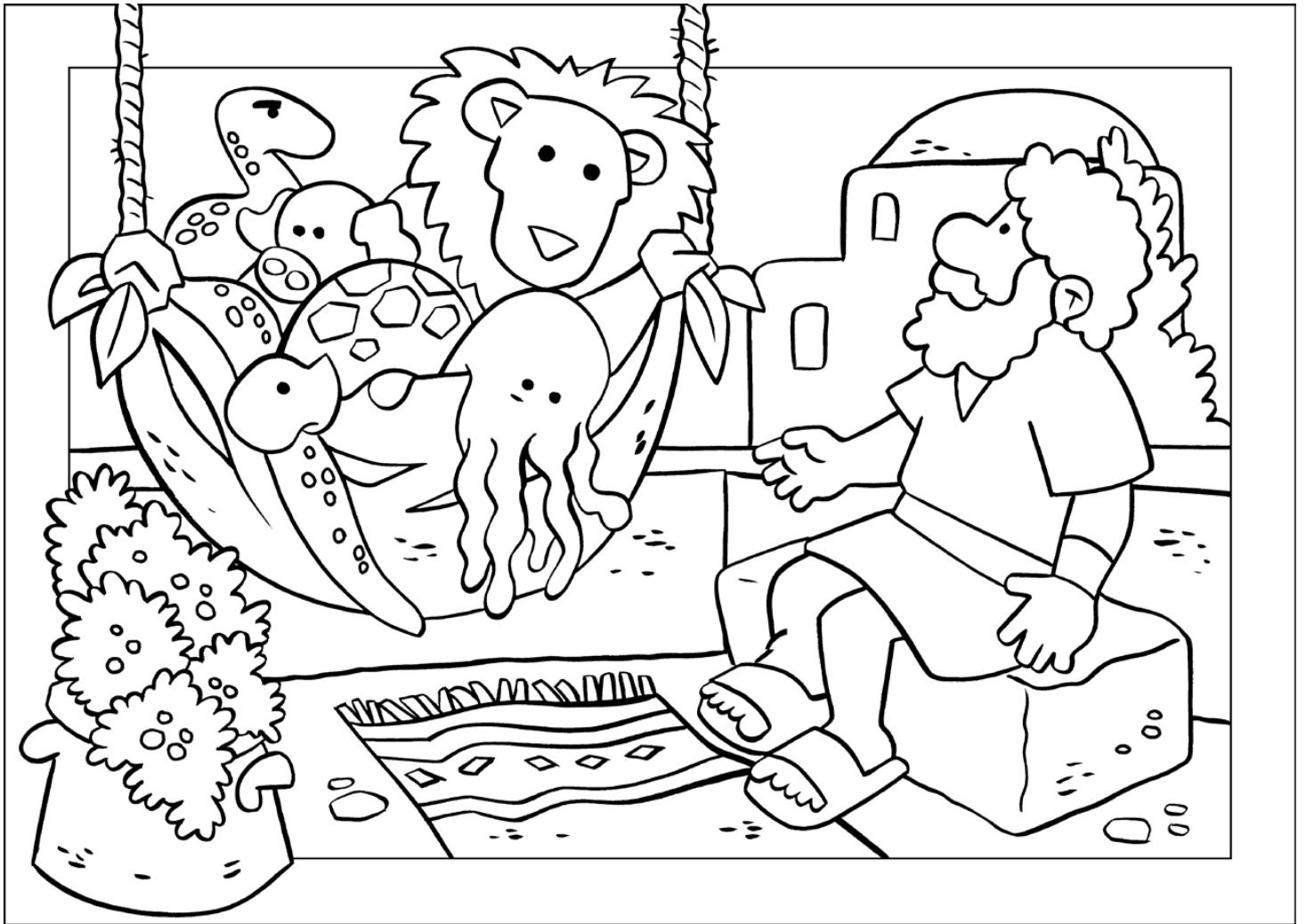
それで、コルネリオはすぐにヨッパへ人をやって、シモン・ペテロを探させました。

そのころ、ペテロは家の屋上で祈っていましたが、お腹がとても空いてきました。すると、大きなシートが天から地上につり下げられてくる幻を見ました。そのシートの中には、あらゆる種類の動物や鳥や両生類が入っていました。そして、こう言う声がしました。

「ペテロよ、さあ、食べなさい。」それでペテロは答えました。「それはできません。律法には、これらは清くないと書かれていますから。」すると、また声がしました。「神が清めたものを清くないと言ってはなりません。」

まもなくすると、コルネリオがつかわした人たちが到着し、ペテロに、いっしょに来てほしいと言いました。ペテロは、神様が幻の中で、この人たちといっしょにコルネリオの家へ行くようにと言われていたのだと分かりました。コルネリオとその家族や友人にイエス様のことを伝えるためです。

それまで、弟子たちはユダヤ人にしか証しをしていませんでしたが、そのことがあってからは、ローマ軍の百人隊長であれだれであれ、イエス様について聞きたい人にはだれにでも証しをするようになったのです。



しとぎょうでん た 使徒行伝：食べるべきか、食べぬべきか？

しとぎょうでん だい じょう
(使徒行伝 第10章)



カイザリヤに、コルネリオという人が住んでいました。コルネリオは一家そろって神様を信じ、民にほどこしをし、絶えず祈っていました。ある日のことです。コルネリオは、幻の中で天使がこう言うのを見ました。「コルネリオ、神様はあなたの祈りを聞かれ、あなたが負しい者たちにほどこしをするのを見られました。さあ、ヨツパへ人をやって、シモン・ペテロという人を呼んできなさい。彼は、あなたがすべきことを教えてくれるでしょう。」

それで、コルネリオはすぐにヨツパへ人をやって、シモン・ペテロを探させました。

そのころ、ペテロは家の屋上で祈っていましたが、お腹がとても空いてきました。すると、大きなシートが天から地上につり下げられてくる幻を見ました。そのシートの中には、あらゆる種類の動物や鳥や両生類が入っていました。そして、こう言う声がありました。

「ペテロよ、さあ、食べなさい。」それでペテロは答えました。「それはできません。律法には、これらは清くないと書かれていますから。」すると、また声がありました。「神が清めたものを清くないと言ってはなりません。」

まもなくすると、コルネリオがつかわした人たちが到着し、ペテロに、いっしょに来てほしいと言いました。ペテロは、神様が幻の中で、この人たちといっしょにコルネリオの家へ行くようにとされていたのだと分かりました。コルネリオとその家族や友人にイエス様のことを伝えるためです。

それまで、弟子たちはユダヤ人にしか証しをしていませんでしたが、そのことがあってからは、ローマ軍の百人隊長であれだれであれ、イエス様について聞きたい人にはだれにでも証しをするようになったのです。